\bigcirc 総 務 省告示

号

第

無 線 設 備 規 則 留昭 和 + 五 年 · 電 波 監 理 委 員 会 規 則 第 + 八 号) 第十 兀 条 の 二 第一 項第二 号 及 び 第三 号

並 \mathcal{U} に 第二 設 項 第二 号 定 及 \mathcal{U} 第 件 \equiv 号 \mathcal{O} 規 定 次 に 基 づ き、 改 令 和 元 る。 年 総 務 省 告 示 第三 $\overline{+}$ 号 (総 務 大 臣

が

別

に 告

令 和 年 月

日

示

す

る

無

線

備

を

 \Diamond

る

 \mathcal{O}

部

を

0

ように

Ē

す

総 務 大 臣 高 市 早 苗

次 0 表 に ょ り、 改 正 後 欄 に 掲 げ る そ 0 標 記 部 分 に二 重傍線 を付 l た 規 定 以 下 対 象 規 定 とい

う。 は、 これ を 加える。

改正後	改正前
総務大臣が別に告示する同一の筐体に収められた他の無線設備は、次のとおりとする。 無線設備規則(以下「設備規則」という。)第十四条の二第一項第二号及び第二項第二号の	[[6 4]
[1	[1~13 同上]
無線設備 設備規則第四十九条の六の十二第三項に規定するローカル5Gの無線局に使用するための	[新設]
[二 略]	[1] 同上]
備考 表中の []の記載及び対象規定の二重線を付した標記部分を除く全体に付した傍線は注記である。	記である。